経営比較分析表（平成28年度決算）

奈良県地方独立行政法人奈良県立病院機構　奈良県総合リハビリテーションセンター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能　※１	指定病院の状況　※２
直営	10	－	－	－
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
－	7,968	非該当	１５：１	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
100	－	－
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
－	－	100
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
100	－	100

グラフ凡例
■　当該病院値（当該値）
－　類似病院平均値（平均値）
【】　平成28年度全国平均

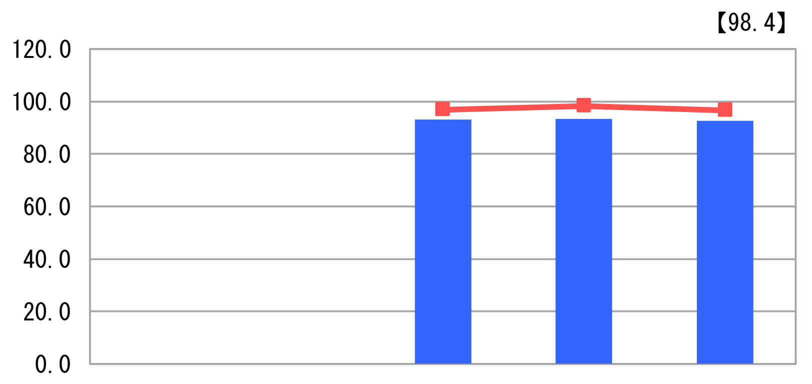
※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

【98.4】

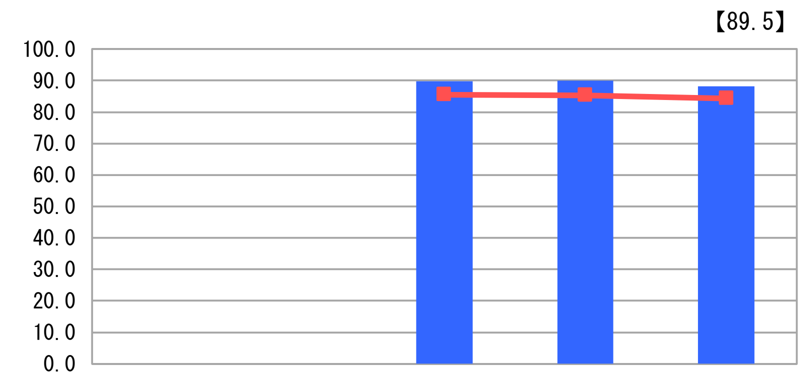


	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	93.2	93.3	92.7
平均値	－	－	96.9	98.3	96.7

「経常損益」

②医業収支比率(%)

【89.5】

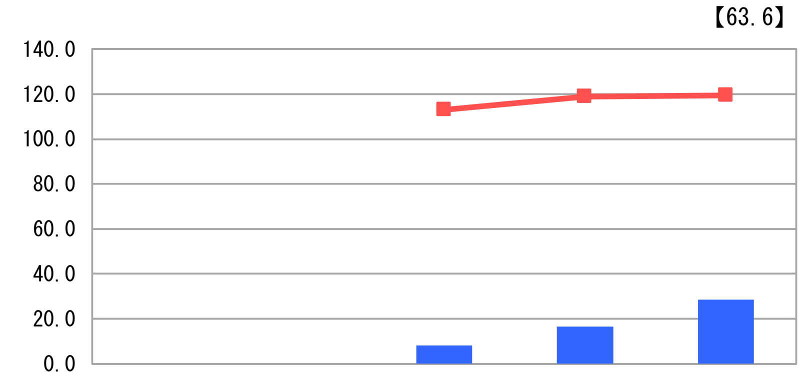


	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	89.7	89.9	88.2
平均値	－	－	85.4	85.3	84.2

「医業損益」

③累積欠損金比率(%)

【63.6】

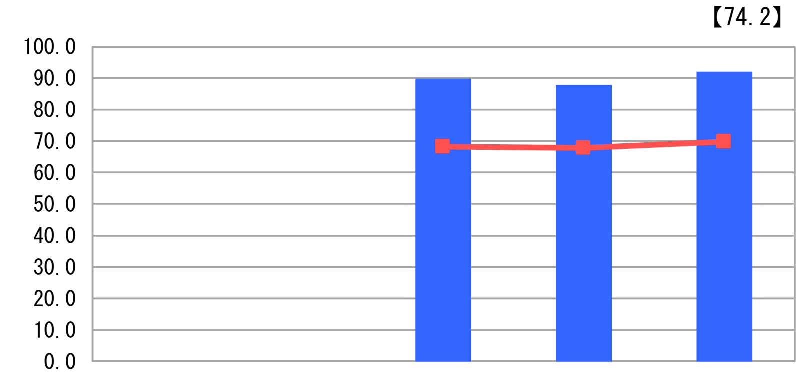


	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	8.2	16.4	28.4
平均値	－	－	112.9	118.9	119.5

「累積欠損」

④病床利用率(%)

【74.2】

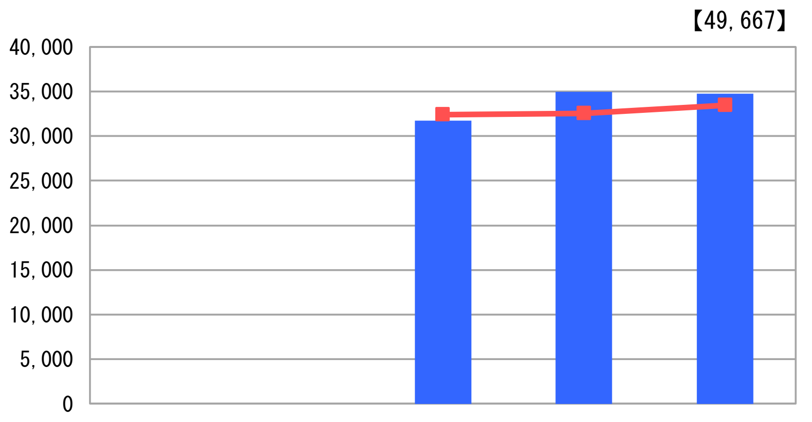


	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	89.9	87.8	92.0
平均値	－	－	68.3	67.9	69.8

「施設の効率性」

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

【49,667】

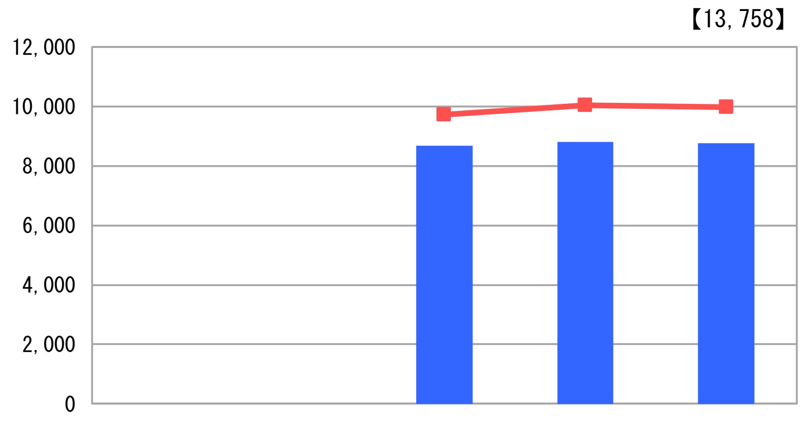


	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	31,731	35,003	34,732
平均値	－	－	32,431	32,532	33,492

「収益の効率性①」

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

【13,758】

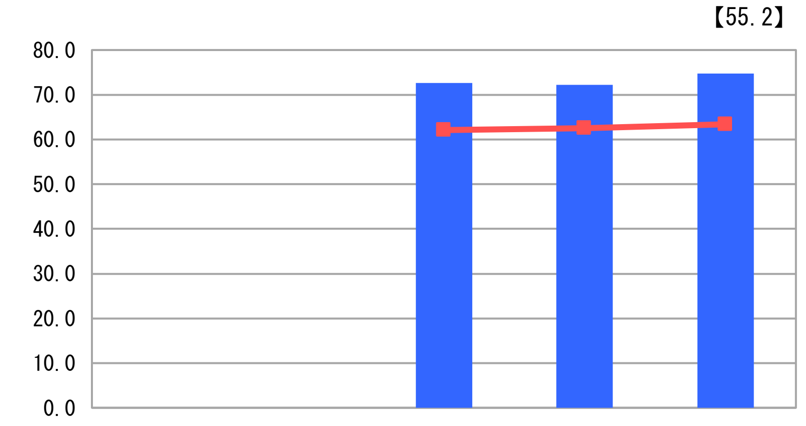


	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	8,674	8,804	8,758
平均値	－	－	9,726	10,037	9,976

「収益の効率性②」

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

【55.2】

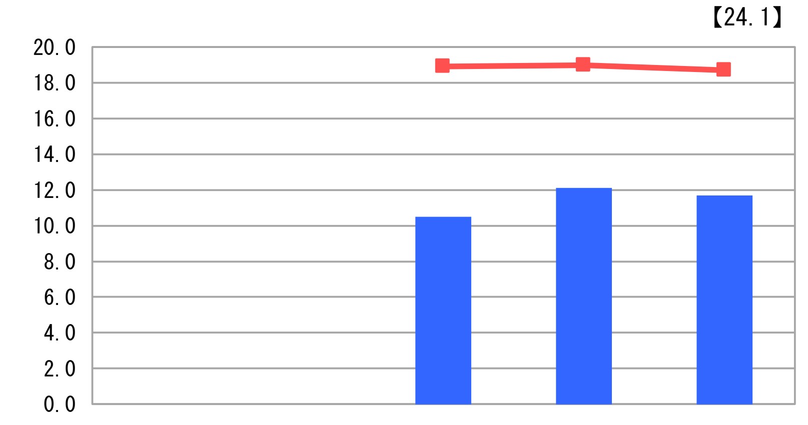


	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	72.7	72.2	74.8
平均値	－	－	62.1	62.5	63.4

「費用の効率性①」

⑧材料費対医業収益比率(%)

【24.1】



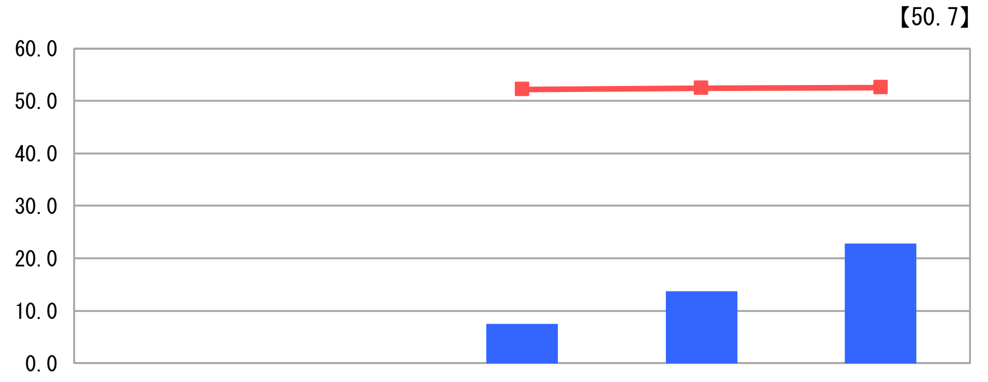
	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	10.5	12.1	11.7
平均値	－	－	18.9	19.0	18.7

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

【50.7】

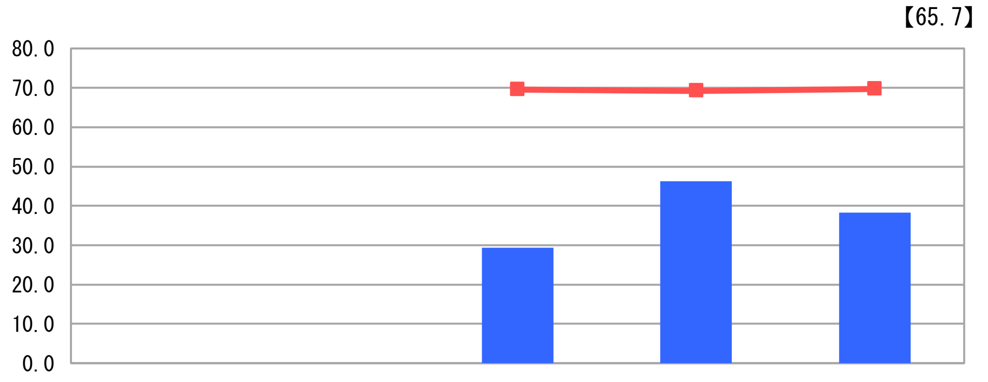


	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	7.5	13.7	22.8
平均値	－	－	52.2	52.4	52.5

「施設全体の減価償却の状況」

②機械備品減価償却率(%)

【65.7】

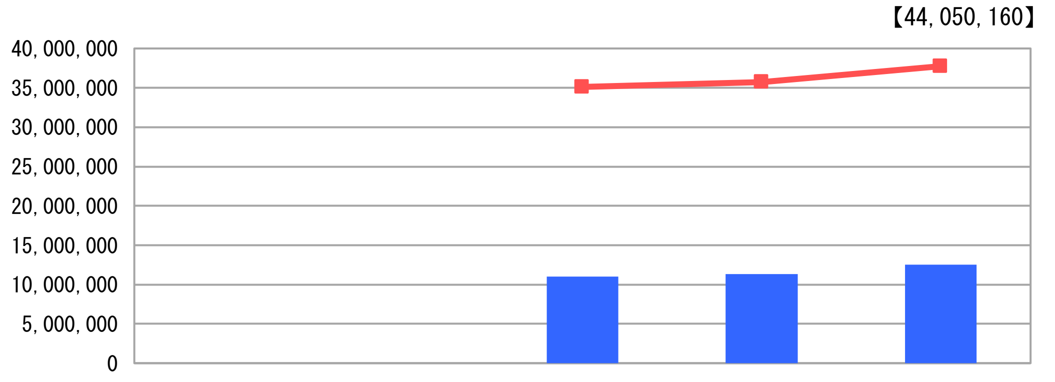


	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	29.4	46.2	38.3
平均値	－	－	69.6	69.2	69.7

「機械備品の減価償却の状況」

③１床当たり有形固定資産(円)

【44,050,160】



	H24	H25	H26	H27	H28
当該値	－	－	11,021,300	11,307,280	12,533,140
平均値	－	－	35,115,689	35,730,958	37,752,628

「建設投資の状況」

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

Ⅰ　地域において担っている役割

障害を持つ方々に特化した奈良県の回復期医療の基幹病院としての役割を担っており、急性期病院での治療を終えた方々が少しでも早く元の生活に戻れるよう、リハビリを中心とした治療を行っている。今後は、地域包括ケア病床の導入を目指し、地域の訪問看護ステーション等と連携して切れ目のないケアが受けられるよう支援していく。

Ⅱ　分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率は平均値を上回っているが、外来患者については、リハビリ訓練患者の割合が多く、外来患者１人１日当たり収益は平均値を下回っている。
このことが収益増に結びつかない一因ともなっており、経常収支比率･医業収支比率は、ほぼ平均値となっている。

職員給与費対医業収益比率については、職員にセラピストが多いことや、看護師等の年齢層が高いことが、給与費を押し上げており、平均値を上回っている。

材料費対医業収益比率については、薬品･診療材料の使用量が少ないため、例年低い比率で推移している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び機械備品減価償却率は、類似病院平均値よりは低い水準にあり、比較的、老朽化は進んでいないとみることができるが、年々増加傾向にあるため、緊急性・必要性等を考慮のうえ、計画的な修繕・更新を行う必要がある。

全体総括

平成２８年度には、医療の質の向上と効果的なサービスの改善につなげるため、病院機能評価を受審し、平成２９年度の認証取得を目指している。今後も、開業医等への訪問を強化するとともに、総合医療センター及び西和医療センターの地域医療連携室との連携を密にすることにより、一般病棟の病床利用率の向上を図る。